

平成21年11月13日

各 位

上場会社名 株式会社 船井財産コンサルタンツ
 代表者 代表取締役社長 蓮見正純
 (コード番号 8929)
 問合せ先責任者 常務取締役 中塚久雄
 (TEL 03-6439-5800)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年8月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,929	△606	△1,117	△1,583	△14,978.01
今回発表予想(B)	7,480	△3,078	△3,621	△4,188	△39,627.36
増減額(B-A)	551	△2,472	△2,504	△2,605	
増減率(%)	8.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	15,269	1,785	947	47	454.33

平成21年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,936	△747	△798	△1,729	△15,639.43
今回発表予想(B)	6,112	△2,834	△2,890	△3,643	△34,467.26
増減額(B-A)	176	△2,087	△2,092	△1,914	
増減率(%)	3.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	14,439	1,737	1,567	60	578.90

修正の理由

(連結業績予想の修正理由)

不動産市況の急激な悪化に伴い、金融機関の融資姿勢の厳格化や不動産価格の下落等の影響から、依然厳しい状況が続いております。このような環境の変化を踏まえ、今後販売を見込んでいるたな卸資産の売却価格の見直しを行った結果、平成21年12月期第3四半期連結会計期間におきまして、「棚卸資産の評価に関する会計基準」によるたな卸資産の評価損1,596百万円を売上原価に計上するに至りました。また、第4四半期連結会計期間におきまして、営業原価として当社子会社が営業者である事業再生ファンドから出資している優先株約330百万円を減損処理する見通しとなり、業績予想額に織り込むこととなりました。

当社グループでは、有利子負債の削減など財務体質の改善や人員調整などの組織改革と併せて財務リストラチャリングを進め、保有資産の早期売却、評価の見直しを行なった結果、前述の理由により通期業績予想を修正するに至りました。保有資産の徹底的な見直しの結果、来期以降保有資産の処分損、評価損は発生しない見込みであります。

なお、持分法適用関連会社であった株式会社うかいは平成21年9月11日の株式売却により除外され、日本インベスターズ証券株式会社は平成21年9月30日に解散決議により第4四半期中に除外される予定であります。持分法適用対象会社の範囲の変更により、株式会社うかいののれん相当額償却費が年間約415百万円、日本インベスターズ証券株式会社の損失の取り込み額(平成20年度実績は67百万円の損失、平成21年度は第2四半期までに清算による回収可能額を除く簿価全額165百万円の損失)が持分法投資損失として計上されなくなりますが、当持分法適用対象会社の範囲の変更による通期業績予想(連結・個別)には平成21年8月7日公表の業績予測にすでに織り込み済みであります。

(個別修正予想の修正理由)

連結業績予想の修正と同様の理由であります。

※上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであります。実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上